

2 2 馬術競技実施要項

1 期 日 令和6年7月13日(土)から14日(日)まで(2日間)

2 会 場 仙北市馬術競技場
秋田県仙北市角館町小勝田西ノ沢 77

3 競技区分 第51回東北総合スポーツ大会馬術競技
第78回国民スポーツ大会東北ブロック大会

4 競技種別及び参加人員

種 別	種 目	選手	監督	ホースマネージャー	参加県	合計
成年男子	個 人	5	1	1	6	126
成年女子	個 人	5				
少 年	個 人	5				
	団 体	3				
1県あたりの参加人数		18	1	2		21

(注1) 監督・ホースマネージャーは、選手を兼ねることができる。

(注2) 少年は監督になることはできない。

- (1) 参加馬数は各県8頭以下(少年団体障害飛越競技馬含む)とする。但し、個人競技のうち5頭以上のエントリーの場合は、1頭以上は必ず内国産馬で、かつ個人競技に1種目以上出場しなければならない。
- (2) 予備選手は種別ごとに2名、予備馬は各県6頭まで登録することができる。
- (3) 団体障害飛越競技に出場する選手及び馬は、個人競技にも参加することができる。

5 競技上の規程及び方法

- (1) この競技会は、日本馬術連盟競技会規程最新版及び国民スポーツ大会馬術競技会規程最新版を適用する。
- (2) 少年団体障害飛越競技は2名戦で以下のとおり行う(選手は出場枠内で3名まで登録することができる)。
 - ・競技は1日で行い、チームの馬1頭に2名の選手が騎乗し同一コースを走行する。
 - ・6チームの前段の選手が走行後、同順序で後段の選手が走行可能とする。
 - ・出場は、他の個人競技と同様に組合せ抽選会で決定する。
 - ・監督は、競技実施の前日までに出場選手2名と騎乗順序(前段・後段)を申告する。

[順位決定方法]

- ・チーム2名の合計成績(減点及び所要タイム)で順位を決定し、総減点の少ないチームを上位とする。
- ・同点場合は、2名の所要タイムの合計点が少ないチームを上位とする。
- ・合計所要タイムが同じ場合は、比較するチームの中で最も所要タイムの速い選手が所属するチームを上位とする。それでも同タイムの場合は同順位とする。
- ・1名が失権したチームは、2名が完走したチームの下位とし、完走者の減点と所要タイムにて

順位を決定する。なお、2名とも失権したチーム順位はつかないものとする。

- (3) 各種別の個人競技参加者は、各県とも障害飛越競技は1種目2頭、馬場馬術競技は1種目1頭とする。
- (4) 参加選手の出場は、団体競技を除く全種目を通じて1人1種目1回、合計2種目までとする。
- (5) 参加馬の出場は、全種目を通じて同種目1回で、合計1頭5種目までとする。
- (6) 選手は所属する県名を出場する服装に明記すること。違反した場合は出場できない。
- (7) 鞍下ゼッケンには、県名及び県マーク以外は表示できない。
- (8) すべての競技において、準備馬場への入場は選手の他に各県2名以内とし、指定の腕章を着用すること。
- (9) 騎乗中は、必ず乗馬競技用ヘッドギアを適正に着用すること。

・日程及び競技種目・実施基準

月日	競技番号	種目	実施基準
7/13 (土)	第1競技	成年女子 馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
	第2競技	成年女子 トップスコア競技	高さ0.90～1.40m以下、幅1.70m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	第3競技	成年男子 トップスコア競技	高さ0.90～1.50m以下、幅1.80m以下、10障害以内、規定時間60秒とする。
	第4競技	少年 スピード&ハンディネス競技	高さ1.10m以下、幅1.30m以下、13障害以内、全長約600mとする。
	第5競技	少年 馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のジュニアライダー個人競技馬場馬術課目を実施する。
7/14 (日)	第6競技	成年男子 馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
	第7競技	成年女子 二段階障害飛越競技	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
	第8競技	少年 標準障害飛越競技	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	第9競技	成年男子 スピード&ハンディネス競技	高さ1.30m以下、幅1.50m以下、13障害以内、全長600m未満とする。
	第10競技	少年 団体障害飛越競技	高さ1.10m以下、幅1.30m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
第78回国民スポーツ大会出場種目選考会			

6 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

第78回国民スポーツ大会総則5に基づいた条件を有することのほか、次による。

- (1) 少年種別に参加するには、中学3年生を含む2010年4月1日以前に生まれた者から2006年4月2日以降に生まれた者とする。
- (2) 選手は、ブロック大会の参加申込の時点で、公益社団法人日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格B級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗者資格B級以上の資格がない場合は、公益社団法人日本馬術連盟の会員であることのほか参加都道府県の馬術連盟会長が発行する技能証明書を東北地区馬術連盟会長宛に提出すること（事務局への提出のこと）。

- (3) 参加馬は、公益社団法人日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 馬匹は参加都道府県を重複して出場することはできない。
- (5) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認馬術コーチ1、公認馬術コーチ3のいずれかの資格を有する者であること。

7 総合順位決定方法

- (1) 各種目に次のとおり競技得点を与える。ただし、同順位の場合、得点は次の順位のものに加え、該当県で等分する。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

- (2) 総合成績は各県ごとに競技得点を合計し、その多い順に県順位を決定する。ただし、合計得点在同一の場合は優勝数の多い県を上位とし、なおかつ同一の場合は2位の数が多い県を上位とする。

8 表彰

- (1) 男女総合成績第1位に大会会長カップ（持ち回り）を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位から第3位までにそれぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各種目の第1位から第3位までの入賞者には賞状を授与する。
- (4) 各種目の第1位から第8位までの入賞馬に馬リボンを授与する。

9 参加申込方法

- (1) 第78回国民スポーツ大会東北ブロック大会兼第51回東北総合スポーツ大会実施要項総則（以下「総則」という。）に定める「8 参加申込方法」による。また、東北総合スポーツ大会秋田県実行委員会のホームページより添付ファイルをダウンロードし、必要事項を入力の上、同システムへ添付すること。参加申込みの期限は、令和6年6月13日（木）必着とする。
- (2) 参加申込み後の人馬交代は、特別の事情で出発前に限りの交代は認める。交代させる場合は、所定の様式（人馬の交代届）で下記宛に届けなければならない。交代する人馬は、いかなる場合でも予め予備登録人馬として記載されていなければならない。所定の手続きに基づき提出された交代届は、監督会議の議を経て承認される。なお、監督会議後の少年団体障害飛越競技においては、やむを得ない場合（故障については大会指定の獣医師が認めた場合等）には、馬匹の変更を認める。

① 提出期限 監督会議まで（少年団体障害飛越競技を除く）

② 提出先 ア) 第51回東北総合スポーツ大会秋田県実行委員会 事務局
E-mail : sports@pref.akita.lg.jp（※メールにより届出すること）

TEL : 018-860-1242（※メール着信確認用）

イ) 秋田県馬術連盟 事務局

〒014-0328 秋田県仙北市角館町竹原町 41

TEL:0187-52-1622

FAX:0187-52-1622

10 参加上の注意

(1) 個人競技の出場順序は、担当県が抽選により決定する。

(2) 参加馬の入退厩

入厩：令和6年7月11日（木） 午前9時から

退厩：令和6年7月14日（日） 午後5時まで

(3) 馬匹の入退厩届については、追って詳細を連絡する。

(4) 次の検査、または注射を行った旨を証明する「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」（以下「馬健康手帳」という）及び乗馬登録証を持参し、入厩時に大会本部へ提出し指示に従うこと。

ア、馬インフルエンザ予防接種について、参加馬は基礎接種を完了していなければならない。基礎接種は初回ワクチン接種を実施してから21日以上・2か月以内に2回目のワクチン接種を行うこと。補強接種については、基礎接種(2回目)から7か月以内に最初の補強接種を行い、それ以降1年以内に継続的に補強接種を受けていなければならない。

(2024年1月1日以降)

2回目の基礎接種の間隔は21日以上60日以内、最初の補強接種は2回目の接種から6か月+21日以内とする。

【経過措置】

(1) 2008年3月31日以前に基礎接種を完了している馬について

① 2回目の基礎接種の間隔は、21日以上2か月以内であれば可とする。

② 基礎接種の後の最初の補強接種は1年以内であれば可とする。

(2) 2024年1月1日以前に基礎接種を完了している馬について

① 2回目の基礎接種の間隔は、21日以上2か月以内であれば可とする。

② 基礎接種の後の最初の補強接種は7か月であれば可とする。

(3) 上記条件を満たしていない馬に対する特例措置として、『日本馬術連盟インフルエンザ予防接種実施要項』を満たしている場合は入厩可能とする(馬インフルエンザ予防接種不備に対する制裁措置は適用しない)

イ、流行性脳炎（馬の日本脳炎）予防接種については、令和2年4月1日付「日馬連検査・予防接種実施要項」の変更により予防接種義務が削除されました。しかしながら感染の危険が皆無ではないので愛馬の罹患を防止するため予防接種が推奨される。

ウ、馬健康手帳には、その馬の特徴がはっきり記載されていること。

(5) 参加馬には敷料を支給する。

(6) 参加選手及び監督、ホースマネージャー、競技役員は何らかの傷害保険に加入していること。

(7) 参加人馬の事故については、応急の手当ては行うが、その責任は負わない。

(8) 未成年選手の保護者が臨場しない場合は、未成年選手の落馬後の再騎乗にかかる委任状を準備し、監督が携行すること。

11 第78回国民スポーツ大会馬術競技会出場決定方法

(1) 国民スポーツ大会個人競技に参加する人馬の割り当てを次のように行う。

ア 個人競技得点合計成績により、次表のとおり人馬を割り当てる。

種別		順位						合計(団体)
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	
選手数	成年男子	3	3	2	1	1	0	10
	成年女子	3	2	1	1	1	0	8
	少年	3	2	1	1	1	1	9
	計	9	7	4	3	3	1	27
馬匹数		7	5	3	2	2	1	20

イ 団体障害飛越競技は1位県が出場を得たものとし、選手2名、馬1頭の参加を割り当てる。

割り当てられた団体競技選手及び馬は、個人競技に参加することができる。

ウ 個人競技得点成績の順位により、次表のとおり追加割り当てをする。

種別	項目	個人競技東北地区割当出場数			個人競技選手 出場可能数 (B)	団体1 位 (C)	A - (B+C) (D)
		馬場馬術以外	馬場馬術	計 (A)			
成年男子	種目 県 6×3=18	種目 県 2×2=4	22	選手 種目 10×2=20	0	2	
成年女子	4×3=12	2×2=4	16	8×2=16	0	0	
少年	6×3=18	2×2=4	22	9×2=18	2	2	

エ 本大会個人競技出場種目割当表

種別	順位	個人競技東北地区割当出場数						団体 1位	合計 種目
		1位	2位	3位	4位	5位	6位		
成年 男子	人 種目 3×2 = 6	人 種目 3×2 = 6	人 種目 2×2 = 4	人 種目 1×2 =2 ※1× 2=2	人 種目 1×1= 1	人 種目 ※1× 1=1	22		22
成年 女子	3×2 = 6	2×2 = 4	1×2 = 2	1×2 = 2	1×2 = 2	0	16		16
少年	3×2 = 6	2×2 = 4	1×2 = 2 ※1× 2=2	1×2 = 2	1×2 = 2	1×2 = 2	20	2×1=2	22
計	18	14	10	8	5	3	58	2	60
馬匹数	7	5	3	2	2	1	20	1	21

※監督またはホースマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手数並びに種目数を増やすことができる。

(2) 個人競技の種別選択権は次のとおりとする。

ア 馬場馬術競技の各種別第1位の県が、本大会当該種別の馬場馬術競技若しくは自由演技馬場馬術競技の1番目の選択権を有する。(ただし、記の表に該当しない場合は、選択権はない。)

イ 少年標準障害飛越競技の各種別第1位の県が、本大会の標準障害飛越競技種目の1番目の選択権を有する。(ただし、上記の表に該当しない場合は、選択権はない。)

ウ スピード&ハンディネス競技の各種別第1位の県が、本大会のスピード&ハンディネスの1番目の選択権を有する。(ただし、上記の表に該当しない場合は、選択権はない。)

エ 成年女子二段階障害飛越競技第1位の県が、本大会成年女子二段階障害飛越競技種目の1番目の選択権を有する。(ただし、上記の表に該当しない場合は、選択権はない。)

オ トップスコア競技の各種別第1位の県が、本大会のトップスコア競技の1番目の選択権を有する。(ただし、上記の表に該当しない場合は、選択権はない。)

カ (1) エの個人競技出場割当数のうち、ア～オの選択権の残余の個人競技の選択権は、競技得点合計の上位の県から割当数を順次選択する。

キ 次に少年団体競技出場獲得県が、少年個人競技分の選択権を有する。

ク 最後に残余種目を2位県、3位県の順に選択する。

ケ (1) エの本大会個人競技出場種目割当数の権利があるにもかかわらず、種目を選択出来ない場合は権利をもっている県が他県と調整する権利を有し、それについては出場種目選考会で調整することとする。

12 参加料及び登録料

第51回東北総合スポーツ大会実施要項に定めるほか、馬術競技においては次のとおりとする。

(1) 参加料及び登録料は申込みと同時に納入するものとし、一旦納入したものは一切返却しない。

(2) 参加料は1人1種目10,000円、少年団体障害飛越競技は1チーム20,000円とする。

(3) 参加馬登録料は、1頭15,000円とする。

(4) 参加料の納入先 銀行振込 秋田銀行 角館支店 普通口座 689249
秋田県馬術連盟 会長 三浦 英司

13 その他

(1) 監督会議

日時 令和6年7月12日(金) 午後3時

場所 仙北市立角館樺細工伝承館

〒014-0331 秋田県仙北市角館町表町下丁10-1 TEL:0187-54-1700

出席者 各県監督ほか2名

(2) 第78回国民スポーツ大会馬術競技会出場種目選考会

日時 令和6年7月14日(日) 午後3時

場所 仙北市立角館樺細工伝承館

〒014-0331 秋田県仙北市角館町表町下丁10-1 TEL:0187-54-1700

出席者 各県3名以内

(3) 総合表彰式

日時 令和6年7月14日(日) 午後2時

場所 仙北市馬術競技場